

# 米（玄米・精米）の物流合理化について

- 全国的にトラックドライバー不足が深刻化する中、重量物である米は、特に敬遠される傾向。産地から最終消費地まで主食である米を確実に届けていくため、玄米・精米物流が直面する課題の解決が必要。
- また、2024年度からトラックドライバーに時間外労働の上限規制（年960時間）が適用されることから、物流を持続可能なものとするため、パレット・フレコン規格の統一化、鉄道貨物などモーダルシフトを推進。

## フレコン流通の取組（玄米物流）

- ・フレコンバッグは紙袋に比べて手荷役が少なく、積み降ろし時間が1/2から1/3に短縮されるが、その普及率は4割。



- 農産物検査規格として「推奨フレコンバッグ」の規格を設定（R2.6.30告示改正、R3.6.1施行）



- 「推奨フレコンバッグ」の普及に向けた現地実証を実施  
玄米の推奨規格フレコンを活用した物流効率化実証支援（令和2～4年度）

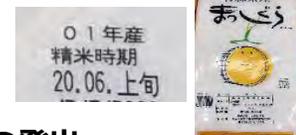
## 配送リードタイムの改善（精米物流）

- ・各米卸事業者が数多くの種類の商品を、個別に各店舗や各配送センターに向けて納品するため、多頻度・少量配送が常態化。
- ・発注から納品までのリードタイム（発注後〇日）や精米年月日から納品までのリードタイム（精米後〇日）が短い。



- 「精米年月旬（上／中／下旬）」表示の導入  
食品表示基準改正（R2.3.27）により、これまでの「精米年月日」表示に加えて「精米年月旬」表示の利用が可能。

旬表示商品の例



- 配送リードタイムの延長等に関する要請文の発出  
米卸団体（全農、全米販）が、小売・量販店、中食・外食、生協の団体に対して、配送リードタイムの緩和、年月旬表示の導入、納品条件の明確化等に関する依頼文を発出（R2.3）。
- 輸送効率の改善に向けた共同配送実証を実施  
精米安定供給のための物流実態把握及び改善に関する実証事業（令和4年度）

## モーダルシフトの取組

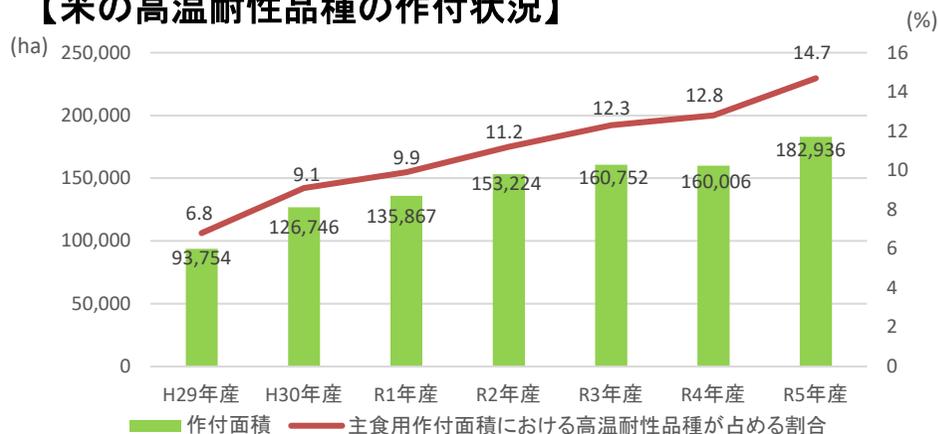
- ・全農においては、休日の運休列車を活用し、米などの専用の貨物列車「全農号」を青森→大阪間で運行。
- ・秋田・新潟・金沢などの途中駅で米などを積み込み、西日本・東海地区などの消費地へ輸送。
- ・12ftコンテナ100基分（500トン）の輸送をトラックから切替。

# 夏の高温・渇水の状態と対応について

- 令和5年は、梅雨明け以降、北・東日本を中心に記録的な高温で推移。
- このため、出穂期以降の高温による白未熟粒の発生などが懸念された各県においては、品質低下を防ぐための追肥や水管理・適期収穫等の対応を強化。加えて、一部地域では少雨による渇水のため、灌水(※)や消雪用井戸の活用等も実施。
- 地球温暖化に伴い高温傾向が続くことが見込まれることから、高温耐性品種の拡大を進める必要。
- 令和6年においても、高温耐性品種や栽培技術の導入実証を通じた新たな栽培体系への転換に対する支援を措置し、産地における高温環境への対応に向けた取組を促進。

※灌水：用水の受益地区をいくつかに分け、区分した地区ごと、または圃場ごとに順番と時間を決めて、数日ごとに配水する方法。

## 【米の高温耐性品種の作付状況】



## 【令和6年度の対策】

### <国からの指導通知>

- ・高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の通知(令和6年4月25日、8月2日)発出

### <国からの支援>

- ・「高温対策栽培体系への転換支援(令和5年度補正予算 2.7億円)」により15道府県22産地で水稲、野菜、花きの高温耐性品種の導入などの取組を支援

都道府県	事業実施主体	取組内容
秋田県	JA秋田おぼこ	飽水管理
福島県	福島米肥稲作部会・高温対策研究会	高温耐性品種(にじのきらめき)の導入、省力化高窒素肥料(指定肥料・指定投下量)の施用
茨城県	茨城県	高温耐性品種(にじのきらめき)の導入、水管理、追肥施用、堆肥施用、深耕、病害虫防除
栃木県	米米くらぶ	高温耐性品種(とちぎの星)の導入、害虫防除
新潟県	新潟県指導農業士会	高窒素鶏ふんペレットの基肥利用栽培体系
富山県	富山県	追加穂肥の実施、堆肥の散布、ゼオライトの散布
富山県	富山県再生協議会	高温耐性品種(富富富、てんたかく、てんこもり)への切替実証
石川県	JA石川かほく	追肥
兵庫県	長尾環直研究会	高温耐性品種(にじのきらめき)の導入
鳥取県	鳥取県産米改良協会	高温耐性品種(星空舞)の導入、堆肥施用
島根県	やすぎ高温耐性米生産推進協議会	高温耐性品種(きぬむすめ、にじのきらめき等)の導入、土づくり(堆肥・土壌改良剤施用)、元肥、追肥(ケイ酸質肥料等)、農薬の適期適量散布、かけ流し灌水

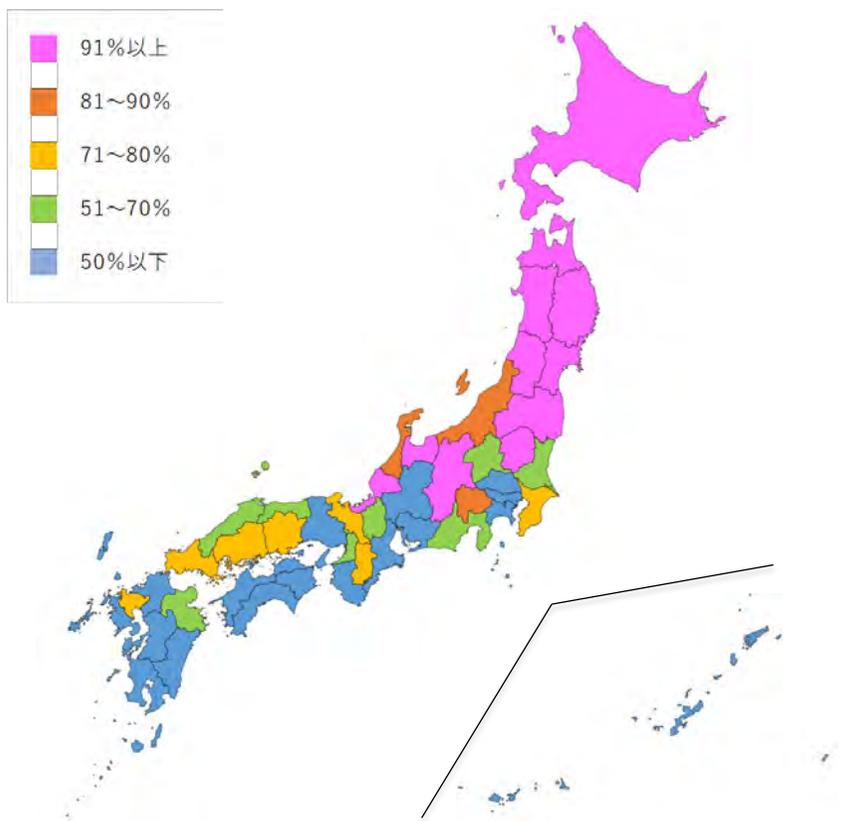
品種名	作付面積 (令和5年産)	作付けの多い 上位3都道府県	品種名	作付面積 (令和5年産)	作付けの多い 上位3都道府県
きぬむすめ	22,549ha	島根、岡山、鳥取	さがびより	6,220ha	佐賀
こしいぶき	18,300ha	新潟	ハナエチゼン	6,100ha	福井
つや姫	17,823ha	山形、宮城、島根	夢しずく	5,750ha	佐賀
ふさこがね	11,700ha	千葉	なつほのか	5,287ha	長崎、大分、鹿児島
とちぎの星	8,500ha	栃木	ゆきん子舞	5,200ha	新潟
あきさかり	8,361ha	広島、徳島、福井	新之助	4,800ha	新潟
にこまる	7,913ha	長崎、静岡、岡山	雪若丸	4,500ha	山形
彩のきずな	6,900ha	埼玉	その他	36,723ha	
元気つくし	6,310ha	福岡	計	182,936ha	

出典：農林水産省「令和5年夏の記録的高温に係る影響と効果のあった温暖化適応策等の状況レポート」  
 ※1 高温耐性品種とは、高温にあっても玄米品質や収量が低下しにくい品種で、地球温暖化による影響に適応することを目的として導入された面積について、都道府県から報告があったものを取りまとめたもの。  
 ※2 作付面積には推計値も含まれる。

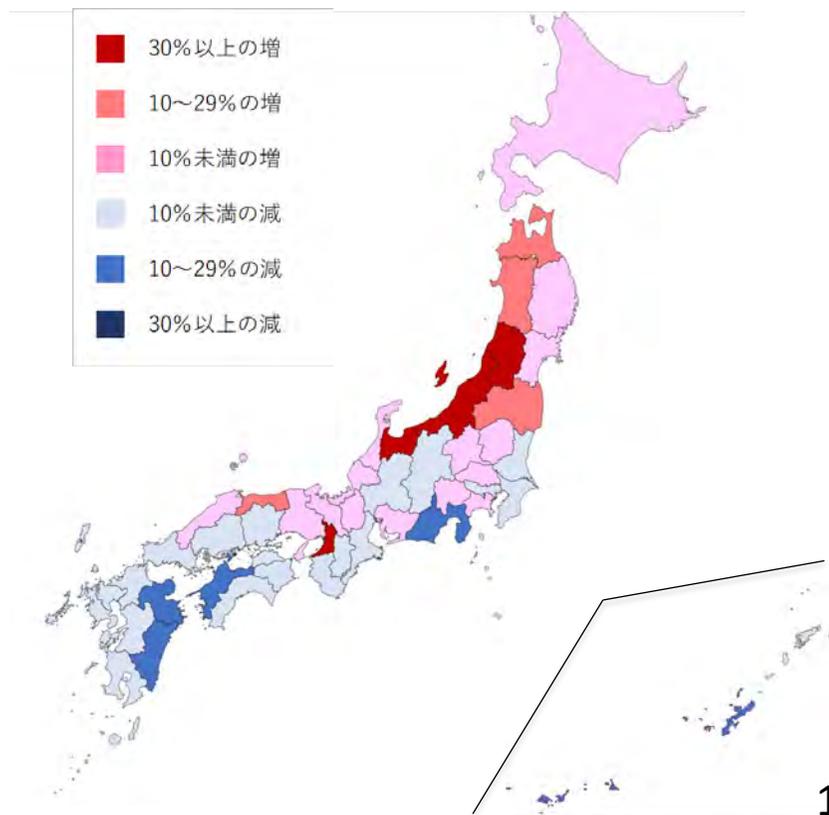
# 令和6年産水稻うるち玄米の1等比率及び前年産比較（9月30日現在）

- 令和6年産水稻うるち玄米の9月30日現在の検査数量は、過去5年（令和元～5年産）平均175.3万トよりも多い181.9万トとなっている。
- 水稻うるち玄米の9月30日現在の1等比率は、過去5年平均73.2%とほぼ同じ77.3%となっている。
- 登熟期の高温による影響により9月末の1等比率が例年よりも低い状況にあった令和5年産に比べ、新潟県84.0%（対前年同期：+70.5%）、山形県95.0%（対前年同期：+40.3%）など23県において、1等比率が増加している。

1等比率(6年産・9月末時点)



1等比率 5年産との比較(9月末時点)



# 令和6年産水稻うるち玄米 等級別検査数量 (令和6年9月30日現在)

(単位:%)

	等級比率				1等比率	
	1等	2等	3等	規格外	前年同期	5力年平均 (R1-R5)
北海道	91.6	5.6	0.5	2.3	86.4	90.3
青森	94.6	5.1	0.3	0.0	68.9	87.6
岩手	96.1	3.7	0.2	0.0	92.5	94.3
宮城	90.2	9.2	0.5	0.1	84.0	84.9
秋田	92.0	6.8	0.9	0.3	62.6	86.3
山形	95.0	4.8	0.2	0.1	54.7	86.3
福島	91.6	7.9	0.5	0.0	76.2	88.5
茨城	56.5	37.3	5.8	0.4	57.1	74.5
栃木	91.1	8.3	0.5	0.0	88.1	92.7
群馬	68.3	19.9	11.8	0.0	64.1	66.1
埼玉	36.9	45.7	14.6	2.8	32.1	50.3
千葉	79.0	18.9	1.8	0.3	88.3	88.2
東京	-	-	-	-	-	-
神奈川	24.4	72.2	3.4	0.0	16.8	39.3
山梨	81.6	17.3	1.1	0.0	80.7	86.1
長野	95.3	4.4	0.3	0.0	95.6	96.9
静岡	55.3	35.7	8.6	0.5	80.4	82.0
新潟	84.0	14.9	0.8	0.3	13.5	55.5
富山	91.1	8.2	0.6	0.1	56.8	82.4
石川	88.7	10.2	1.0	0.1	79.6	85.2
福井	90.2	6.8	0.9	2.1	85.0	88.1
岐阜	34.6	55.5	8.2	1.7	42.9	51.0
愛知	21.7	38.6	36.3	3.3	20.8	29.1
三重	25.7	66.6	7.1	0.5	31.6	38.7

	等級比率				1等比率	
	1等	2等	3等	規格外	前年同期	5力年平均 (R1-R5)
滋賀	61.1	34.8	3.8	0.2	57.4	66.6
京都	71.0	24.7	3.6	0.7	62.7	66.6
大阪	52.0	36.7	10.5	0.8	20.7	26.9
兵庫	33.5	53.7	12.0	0.8	30.3	44.7
奈良	70.8	22.2	7.0	0.0	78.8	81.5
和歌山	8.4	63.3	26.9	1.4	13.5	18.8
鳥取	51.1	44.3	4.1	0.4	36.3	47.7
島根	59.6	30.8	8.7	1.0	52.6	61.6
岡山	70.3	25.2	3.6	0.9	76.7	77.3
広島	78.2	18.7	2.7	0.4	86.6	86.0
山口	78.5	19.8	1.4	0.4	78.8	77.3
徳島	34.3	52.4	11.3	2.0	42.1	44.0
香川	2.7	77.1	19.5	0.6	8.5	8.2
愛媛	27.7	59.4	11.5	1.4	40.7	41.1
高知	16.1	67.7	13.3	2.8	20.9	19.8
福岡	5.9	70.8	19.9	3.4	11.0	12.0
佐賀	70.5	26.3	1.5	1.8	76.0	62.3
長崎	37.3	57.0	4.8	0.9	45.0	50.0
熊本	22.8	60.8	14.4	2.0	29.3	28.4
大分	51.2	36.9	10.0	1.9	64.4	57.7
宮崎	47.0	31.1	17.9	4.0	61.7	64.8
鹿児島	32.4	49.5	14.5	3.6	37.6	37.8
沖縄	46.3	33.1	18.0	2.6	58.3	58.9
<b>全国</b>	<b>77.3</b>	<b>18.9</b>	<b>3.0</b>	<b>0.7</b>	<b>59.6</b>	<b>73.2</b>

注 1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2) 「0」は単位に満たないもの、「-」は事実がないものを示している。

3) 「5力年平均」は、令和元年産から令和4年産の確定値及び令和5年産の速報値(翌年3月末現在)による平均値。